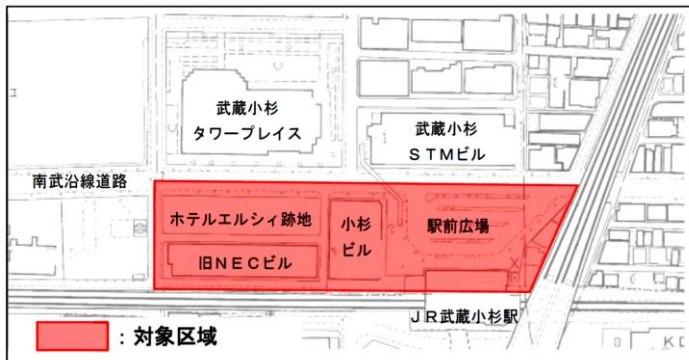


「小杉駅北口駅前まちづくり方針(案)」発表に抗議し、撤回を求めます。 コロナ禍で住民説明会も開けない時に、住民置き去りのまちづくりを進めないで！



小杉北口の再開発区域（駅前広場・小杉ビル・エルシー跡）

住民説明のない意見募集は認められません

川崎市は4月24日突然、「小杉駅北口駅前まちづくりの方針(案)」を発表し、6月1日までの期間にパブリックコメント(市民意見の募集)を行うと発表しました。

事前の地元説明会もなく、突然の発表に住民は驚いています。小杉駅北口については、以前ホテル・エルシー跡に三井不動産が開発計画を発表していましたが、4年近く放置されたままでした。

これまで川崎市は都市計画の各段階で事前説明会を開き、住民の意見を聞き、計画に反映するという方針のもとにまちづくりを進めてきたのではないのでしょうか。

コロナ危機で自粛のさ中になぜ？

世界的な危機の中で、コロナ感染を克服しようと全国民が自粛に応え外出も仕事も控えているさ中に、何年も棚ざらしになっていた再開発計画を突如始動させるのか、しかも、本来手続きの第一段階で行われるべき、事前の住民説明会を開かず、なぜ今開始するのか到底納得することができません。

再開発計画のパブコメはすぐ中止すべきです。

小杉駅北口をどのようにするのか？

首都圏で乗降客数が上位を占める大きな駅であり、中原区内外から多くの駅利用者が集まる駅です。

しかも10年余りで3万人に及ぶ人口増が進められ、鉄道の大混雑、保育園待機児童の急増、学校の過密化、ビル風・日影被害、公園不足、防災対策、下水排水設備の不備など、インフラ整備の遅れが顕著に現れており、とても市民が安心して暮らせる街になっていないのが現状です。

武蔵小杉駅北口駅前には最後に残された貴重な空間であり、多くの市民が関心を持つエリアです。

川崎市と事業者が住民抜きで勝手にまちづくりを進めることは、市民自治の立場からも許されません。

小杉・丸子まちづくりの会が

市に抗議と撤回を求める書面を提出

会は、小杉北口駅前開発のパブコメに抗議するとともに、直ちに撤回するよう、川崎市に申し入れました。



開発優先でタワーマンションが乱立した小杉の街

小杉駅北口駅前まちづくりの意見募集中止を求める意見書を提出しましょう。

裏面の意見書用紙をコピーし、皆さんの意見を書いて郵送かFAXで市に送付してください。

- ★ この意見書は開発計画の中身への意見ではなく、住民無視への抗議と撤回を求める声に限定したものです。
- ★ 小杉駅北口駅前開発への意見は、コロナが収束し市と市民が意見交換できる環境となった時に、住民説明会を求め改めて意見を出しましょう。まずは意見募集を中止させることです。